



JAしまねびより

特集 | 第9回通常総代会

JAしまね国消国産CM放映中!



国消国産



2023

JAしまね第9回通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第9回を数える通常総代会を6月25日(日)、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。

4年ぶりの通常開催となり、当日は、総定数
1,000人(欠員23人)に対し、956人(書面議
決を含む)が出席。議長団に、足野隆二総代(雲
南地区本部)、向濱樽幸総代(隠岐どうぜん地区
本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、
要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業
計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和5年度は、米国の急激な金利上昇の影響を受
けた農林中央金庫の決算悪化による還元減少や電気料金の高騰など、前
年度と比較すると約5億円の収益減が見込まれる中ではあるが、役員
一体となって頑張っていく所存だ。JAの使命はなんと言っても農業振
興を実践すること。そのためには盤石な経営基盤の確立が必要であり、
引き続き改革を進めていく。さらに、5年度からは新たに『自動車燃料
事業の県域会社化検討プロジェクト』『ホームセンター連携検討プロジェ
クト』『しまねの米粉・有機農業検討プロジェクト』の3つの検討プロジェ
クトにも取り組んでいく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の
確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後、この決議に基づき、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本
法の見直しや生産資材高騰対策、食料安全保障対策予算の確保など食料
安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求めるとと
もに、「不断の自己改革」を通じて農業生産基盤の確立や経営基盤の強
化を進めていきます。さらに、食と農や国産農畜産物の適正な価格形成
の実現に向け「国消国産」をキーメッセージに、消費者・事業者などへ
理解醸成・行動変容を促す取り組みを展開していきます。



議長団 足野隆二 総代(左) 向濱樽幸 総代(右) 石川寿樹 代表理事組合長

**食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立
に関する特別決議(案)**

世界的な気候変動等による食料生産の不安定化やロシアによるウク
ライナ侵攻に起因した様々な影響により、穀物や肥料・飼料原料などを
過度に輸入に依存しているわが国の食料安定供給リスクが顕在化して
おり、生産資材価格が高止まりする一方、国産農畜産物は、生産コスト
増高分の価格転嫁がすすまず、生産現場では危機的な状況が続いている。

このようななか、政府・与党は、今後数十年の農政を方向付ける食料・
農業・農村基本法の見直しに向けた検討を開始し、昨年末には「食料安
全保障強化政策大綱」を策定した。

JAグループとしては、政府・与党に対し、食料・農業・農村基本法
の見直しをはじめ、生産資材高騰対策や食料安全保障対策予算の確保など、
食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立を求
めていく。

一方、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」であるJAグ
ループは、「不断の自己改革」に全力で取り組むことを通じ、農業生産
基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめる。

さらに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するというJAグ
ループの使命を果たすとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸
成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキー
メッセージに、消費者・事業者等への理解醸成・行動変容を促す取り組
みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和5年6月25日

第9回 島根県農業協同組合 通常総代会



第9回

通常総代会特集

令和4年度 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大・収束を繰り返すなかでウィズコロナへ行動様式が移行するなか、景気は緩やかに持ち直しが続いていました。しかし、ロシア軍によるウクライナ侵攻以降、国際情勢の緊迫、加えて急激な円安が進んだことにより、肥料・飼料をはじめとした資源価格は高騰を続け、農業経営に深刻な影響を与えました。

鳥根県内の経済においては、ウィズコロナの下、個人消費や雇用情勢等持ち直しつつあり、全体的に回復基調の兆しが見受けられますが、国際情勢等を踏まえた為替や物価の動向、再度のコロナ感染症拡大等のリスクについて、引き続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、5月から6月にかけての降雹被害、7月・8月の全国域の大雨被害、9月の台風被害、1月には大雪被害等により、各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、10月には岡山県の農場を発端に発生した鳥インフルエンザが例を見ない速さで蔓延しており、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

JAグループにおいては、引き続き「断の自己改革」に全力で取り組むことを通じ、農業生産基盤



山根盛治 代表理事副組合長



日高光弘 代表理事専務

の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国産品の確立に向けた取り組みをすすめました。

こうした状況の中、令和4年度は、「第3次農業戦略実践3カ年当農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が380億42百万円、購買品供給高が330億18百万円、貯金残高が1兆98億74百万円、貸出金残高が2,819億39百万円、長期共済保有高が2兆9,059億21百万円、貸出金残高が2,819億39百万円、長期共済保有高が2兆9,059億21百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13・30%となりました。

収支面については、事業利益が2億35百万円、経常利益は16億5百万円となり、当期剰余金は8億22百万円となりました。

主な事業活動と成果の詳細については次のページのとおりです。

貯金残高	1兆98億74百万円
貸出金残高	2,819億39百万円
長期共済保有高	2兆9,059億21百万円
自己資本比率	13.30%
事業利益	2億35百万円
経常利益	16億5百万円
当期剰余金	8億22百万円
販売品販売・取扱高	380億42百万円
購買品供給高	330億18百万円

【議案】

- 本総代会にて付議した議案は次のとおりです。
- 第1号議案 令和4年度事業報告及び剰余金処分案について
 - 第2号議案 令和5年度事業計画の設定について
 - 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規定の一部変更について(特別決議案)
 - 第4号議案 子会社の設立及び出資について
 - 第5号議案 子法人の設立及び出資について
 - 第6号議案 西ノ島町特定地域づくり事業協同組合への加入について
 - 第7号議案 令和5年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
 - 第8号議案 令和5年度における理事の報酬額の決定について
 - 第9号議案 令和5年度における監事の報酬額の決定について



財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	第8事業年度(令和3年度)	第9事業年度(令和4年度)
財 務	事業利益	575	235
	経常利益	1,901	1,605
	当期剰余金	675	822
	総資産	1,138,905	1,114,893
	純資産	78,694	76,196
信 用 事 業	貯金	1,011,169	1,009,874
	預金	576,348	553,660
	貸出金	279,400	281,939
	有価証券	147,067	143,308
	国債	52,865	52,945
	その他の債権	94,201	90,363
共 済 事 業	長期共済保有高	3,045,745	2,905,921
	短期共済新契約掛金	9,054	8,951
購 買 事 業	購買品供給高	28,557	33,018
販 売 事 業	販売品販売・取扱高	38,252	38,042

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 購買品供給高及び販売品販売高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

令和4年度(第9事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	1,976,105,424
2. 剰余金処分額	1,406,593,315
(1)利益準備金	165,000,000
(2)任意積立金	1,000,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
BIS規制強化対応積立金	100,000,000
経営安定化積立金	100,000,000
経営基盤強化積立金	600,000,000
施設等更新積立金	100,000,000
(3)出資配当金	210,339,918
(4)事業分量配当金	31,253,397
3. 次期繰越剰余金	569,512,109

- [注] 1 出資配当金は年1.0%の割合である。
 2 事業の利用分量に対する配当の基準は、令和4年7月から令和5年3月までの肥料の供給高に対し2%の割合とする。
 3 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額41,115千円と、地区本部業績還元のために充てるための繰越額50,000千円が含まれている。

組合員数

(単位：組合員数)

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	59,448	511	2,477	57,482	
	法人	農事組合法人	246	3	4	245
		その他の法人	248	16	6	258
		計	59,942	530	2,487	57,985
准組合員	個 人	158,299	2,114	4,680	155,733	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	18	-	1	17	
	その他の団体	1,784	16	83	1,717	
	計	160,101	2,130	4,764	157,467	
合 計	220,043	2,660	7,251	215,452		

出資口数

(単位：口)

資格区分	当期首	当期増加	当期減少	当期末		
正組合員	個 人	15,480,475	227,613	651,948	15,056,140	
	法人	農事組合法人	27,719	531	238	28,012
		その他の法人	30,137	693	1,625	29,205
		計	15,538,331	228,837	653,811	15,113,357
准組合員	個 人	5,885,592	277,838	285,370	5,878,060	
	農業協同組合	-	-	-	-	
	農事組合法人	1,468	11	11	1,468	
	その他の団体	90,211	299	3,217	87,293	
	計	5,977,271	278,148	288,598	5,966,821	
処分未済持分	146,874	136,552	146,874	136,552		
合 計	21,662,476	643,537	1,089,283	21,216,730		

摘要：(1) 出資一口金額 1,000円
 (2) 当期末払込済出資総額 21,216,730,000円

令和4年度 主な事業活動と成果

令和4年度は、「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また営農指導と経営指導を通じた農業者の所得増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

販売事業

米穀は令和4年産の島根県における水稻の作況指数が101（前年100）となり、主食用の収穫量は83,600 tで、前年産比2,400 tの減となりました。また、4年産米の集荷数量は令和5年3月末現在で33,900 tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.9%、前年対比では96.3%となりました。

園芸

島根ぶどうは継続的にSNSを活用した消費宣伝を行ったことや、高単価の早い時期への出荷誘導を行い、デラウェアについてはkg単価において過去最高を更新する1,423円（税別）となりました。島根ぶどう全体では、シャインマスカットが大きく伸びたこともあり、14年ぶりに販売金額20億円を達成することが出来ました。玉ねぎは、広域調製保管施設の稼働開始に伴い、面積拡大、販売額の大幅な増加につながりました。西条柿は、生産者と共に3年ぶりとなる量販店での販売促進に取り組みました。



畜産

コロナ禍による外食産業を中心とした消費減退や円安の影響を受けた飼料価格高騰など自助努力で回避できない大きな問題が次々と畜産経営に影響を与えるなか、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、購買者誘致・肉質データ提供による有利販売等販路拡大に取り組みました。

第12回全国和牛能力共進会では第6区総合評価群肉牛群で1位、併せて特別賞「脂肪の質賞」を受賞し種牛群との総合評価で全国3位を獲得した他、肉牛群の第7区・第8区でそれぞれ優等賞2席を獲得し、肉牛群出品全3区において好成績を収めました。また、特別区では島根県代表として出場した県立出雲農林高校は総合成績で優等賞5席、併せて特別賞「顔品賞」を受賞しました。オール島根で臨んだ今大会では肉牛群を中心として好成績をおさめることができました。



酪農に関しては、乳業メーカーとの乳価値上げ交渉について指定生乳生産者団体である中国生乳販連（中国生乳販売農業協同組合連合会）を通じて行き、生乳1kg当り15円の要求に対し、令和4年11月から10円/kgの回答を了承しました。

資材

肥料・農薬については、昨年に引き続き肥料統一銘柄7品目、農薬統一銘柄8品目を継続して選定し、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬の普及に取り組みました。なお、肥料・飼料価格高騰を受け、JAしまね独自による「肥料・飼料高騰対策」を実施し、農家支援を行いました。

農機事業

JAと全農共同出資の県域会社設立に向け、全農及び地区本部、子会社と協議を進めました。

信用事業

貯金の大宗を占める個人貯金については、総合事業体であるJAの特性を活かし、「しまね和牛」をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、コロナ対策及び原油や飼料・肥料等の価格高騰対策として、「令和4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、自然災害対策としては「令和4年3月暴風農業被害対策資金（県制度資金）」「令和5年1月大雪農業被害対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、影響を受けられた農業者の支援に取り組みました。



共済事業

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組むとともに、「JAしまね子ども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

くらしの活動

コロナ禍での活動制限が少しずつ緩和されるなか、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みとしてすすめてきました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用し、研修や学習活動を実施しました。



令和5年度 事業方針

指導事業

農業振興

「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の第2年度目として、初年度の成果と課題を踏まえ施策に修正を加えながら、「農業者の所得拡大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に、全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対して積極的な支援活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を推進します。

重点実施事項

- ① 次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信
- ⑥ 営農指導・生産振興での生産者貢献
- ⑦ 農業振興支援事業の実施

- ⑧ 島根県産農畜産物の安全・安心への取り組み

- ⑨ 農業労働力確保対策

- ⑩ 将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

くらしの活動

活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動として、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「JAしまねくらしの活動」に取り組み、活動を通じた組合員・地域住民の連携強化によって地域活性化を促し、持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。

販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルタント機能を提供し、農業・くらし・地域に寄り添う金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・

地域社会とより広く・深く・長く「繋がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、新たな生活様式への対応を加速させ、組合員・利用者一人一人のニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。





功労者表彰名簿 〈令和4年6月退任の皆様〉

第9回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等	表彰者名	在任時の役職	選出地区等
高木賢一	(代表理事専務)	本店	立脇渉	(理事)	出雲
石川薫	(常務理事)	本店	伊藤篤男	(理事)	出雲
有田吉弘	(常務理事)	本店	永瀬のり子	(理事)	出雲
佐々木孝子	(理事)	本店(女性)	山崎辰次	(常務理事本部長)	石見銀山
栗原令	(常務理事本部長)	くにびき	山田康司	(理事)	島根おおち
田中鈴夫	(理事)	くにびき	中束多久夫	(理事)	いわみ中央
多久和宏	(理事)	くにびき	中島重秋	(理事)	西いわみ
伊藤精一	(常務理事本部長)	やすぎ	青木和憲	(理事)	西いわみ
根来茂樹	(理事)	やすぎ	名原佳宏	(代表監事)	
新田昭喜	(理事)	雲南	青砥正幸	(常勤監事)	
石原公夫	(理事)	雲南	田尻宏	(常勤監事)	
澤田秀樹	(理事)	雲南	岡睦夫	(監事)	
新谷徳昭	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん	川神守	(監事)	
岡田達文	(常務理事本部長)	出雲	山川博司	(員外監事)	
福島隆	(理事)	出雲	奥原展芳	(執行役員副本部長)	くにびき

第9回総代会 Q & A

Q1 営農指導体制について、JAとしてどこまで取り組む考えなのかお聞きしたい。

A 農家へできるだけ早期に、どの地区本部の指導員でも県域重点施策を中心に農業経営への有益な技術情報を与えられるよう、スキルアップのための指導員研修を重ねていきます。また、大きな産地形成に向けた、地区本部をまたいだ効率的な指導ができるよう、スキルの高位平準化を図っていきます。

Q2 農機事業を子会社化すると、農機具の価格や全農手数料はどのようになるのか。また、他の農機具店では土日完全に休みにしているところがあるが、春と秋の繁忙期でも今後はJAも休みにするのか。

A JAと全農が一体となることで、全農手数料は効率化が図れると想定しています。また会社組成後は、JAと全農、新会社で「農機事業経営委員会」を設置し、農機事業運営については、引き続き一定の関与をすることとしており、事業の効率化や技術力の向上を含む人材育成、また価格はもとより質の高いサービス提供で組合員に満足いただける事業となるよう取り組んでまいります。繁忙期の対応は、これまで通り対応することとしています。会社化によりサービス低下とならないよう三者でしっかり検討します。

Q3 農機事業について、小規模農家にも活用しやすいリースやレンタル事業を始めてみてはどうか。コスト低減になり、新たな担い手確保にもつながるのではないかと。

A 小規模農家でも継続的に農業に携われるよう、中古農機の活用やレンタル、リース事業について、全農とともに検討を進めます。

Q4 雲南地区本部の店舗再編について、事業計画案の修正が行われたが、経過と今後の予定について伺いたい。

A 雲南地区本部の店舗再編は、地区本部での協議、理事会決定を踏まえ、事業計画に盛り込みましたが、該当地区への説明、合意形成が不十分であったと判断し、事業計画案の修正を行いました。今後は、取り組み経過も踏まえ、一層慎重な議案の取扱いに努めます。また、雲南地区本部の金融機能の再編を含む経営改革の問題は、本店と地区本部が一体となったプロジェクトを組成し、対策を協議します。地域・利用者の皆さまへの説明、話し合いにも十分留意しながら検討を進めてまいります。

Q5 JAしまねの本店は、松江市の「島根JAビル」を間借りしているという想定で質問する。統合して10年が経とうとしており、厳しい経営状況が続くと思っているが、本店の移転や設立等について、現状や計画等があればお聞かせいただきたい。

A 現在入居している「島根JAビル」は竣工以来58年が経過しております。令和3年度に検討を行い、新築や移転は行わず修繕・補強を施しながら、少なくとも10年間は入居することといたしました。

この他にも幅広くご意見をいただきました。



©よい食P



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

JAしまね女性部

令和5年度は、JA女性組織3カ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践2年目です。

つなごろうみ まもろうみ かかわろうみ

の3つの具体的目標を掲げ活動します。



活動体験発表をする今岡さん



役員改選を経て、新たなメンバーで女性部を盛り上げていきます

リーダー研修会
当日の様子は
こちらから



「つなごろうみ（仲間と・地域と・他組織と・次代と）」 「中四国地区JA女性組織リーダー研修会」の実施

7月6、7日に開催し、中四国9県から213人の女性部員や関係者が参加しました。JA女性組織活動体験発表では、各県の代表者9人から出雲女性部の今岡千恵子さんが最優秀賞に選ばれました。今岡さんは来年1月に開かれるJA全国女性大会に出場されます。

「まもろうみ（食を・農業を・地域を・自分や周りの健康を）」

JAしまね女性部統一行動「米一握り運動」の実施
女性部が中心となり、島根県内のフードバンク・子ども食堂等への支援を行います。

「かかわろうみ（農業と・JAと・生産者・消費者と）」

JAしまね支店ふれあい活動・JAしまね女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実施
女性部とJA役職員が協力しながら支店の美化活動を中心に、来店したくなる支店づくりを行います。

ここで紹介した以外にもさまざまな活動を計画しています。今年度は「Withコロナ時代における新たなJA女性組織の活動指針」に則り、感染症対策やWEB等の活用を通じて、これまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性組織活動の実践を進めていきます。



一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献して
いきたい

JA YOUTH

つきやま まさゆき
月山 正幸さん



JAしまね島根おおち青年連盟（以下、農青連）に加入している月山正幸さん（49）は、地元邑南町で露地野菜（トウモロコシ、ケール、広島菜、高菜、キャベツ、エゴマ、もち麦）などを中心に栽培しています。17年間JAの営農指導員として勤務し、13年前に退職しました。その後、家族で「株式会社 有機ファーム 研久屋」を立ち上げました。

「農家という『経営者』になりたい」という思いから、転職を決意し、今では「農家を支える農家」と言われるほど地域に無くてはならない存在です。地元では広域的に農薬のドローン散布を請け負い、地域の農業を担っています。また、今でもJAとの繋がりが強く、夏の繁忙期になると米検査員として活躍しています。

農青連では副委員長を務め、子どもたちに「食育を教える」をモットーに青年活動へ積極的に参加しています。

月山さんは「今後は、今まで培ってきた知識を次世代へ繋ぐこと、地域の農地を守っていくことを目標に営農活動に従事していきたい」と熱く語りました。

農機事業からのお知らせ

農機事業の県域一体化構想に基づき、JAしまねと全農の共同出資により新会社が7月3日に設立されました。

新会社の名称は、「JA全農島根農機サポート株式会社」となります。この新会社での事業開始は令和5年11月を予定しています。

現在の農機センターや子会社事業所は、新会社の営業所やサービスセンターとなりますが、引き続き組合員の皆様の農機サービス拠点として営農支援に努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

【会社概要】

名称：JA全農島根農機サポート株式会社

本社：松江市宍道町佐々布19-1

営業所：地区本部の農機センター、農機子会社本社が営業所となります。

社員：現在の農機担当者が引き続き新会社で農機事業を担ってまいります。

【秋作業を控えて】

コンバイン等収穫用機械の点検はどうされていますか。昨年作業後の格納点検は実施されましたか。

収穫作業は天候に大きく左右されます。作業中の故障を未然に予防するために、作業前にはもう一度取扱説明書をよく読んでいただき使用前・使用後の日常点検を実施しましょう。

不明な点がありましたら、最寄りのJA農機センターへお問合せください。



理事会情報

（6月21日開催）【協議事項】

- ①雲南地区本部 店舗統廃合問題の今後の対応について

（6月30日開催）【協議事項】

- ①宍道湖西岸地区農地整備事業の営農推進に係る中国四国農政局整備事業所とJAしまねの協定締結について
- ②信用事業方法書（為替取引）の一部改正について
- ③第9事業年度業務報告書について
- ④子会社等への役職員の推薦及び派遣について

- ⑤西いわみ地区本部 益田東支店等の借地契約満了に伴う土地の取得について
- ⑥約定利息全額免除について
- ⑦理事（常勤・非常勤）と組合の取引について
- ⑧組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩理事の個別役員報酬額の決定について
- ⑪執行役員の個別報酬額の決定について
- ⑫役員賠償責任保険への加入について

総代説明会開催



当日の様子

くにびき地区本部総代説明会を6月17日、営農総合センターで開催しました。令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画、基本方針など主な内容について報告します。

当日は、総代140名のうち、96人が出席しました。冒頭で、出席者全員によるJA綱領を唱和の後、くにびき地区本部の越野浩昭本部長が「昨年6月に本部長に就任し、1年を迎えます。4年度決算も組合員、利用者の皆様にご協力をいただき、事業収支の黒字化を確保できましたことに厚くお礼を申し上げます。農業の生産現場では、離農・高齢化による担い手不足や中山間地域だけではない鳥獣被害そして燃油や飼料・肥料などの生産資材の高騰や電気料金の値上げなど、厳しい状況が続いております。JAしまねとして、皆様のお力になるため、全国に先駆けて、昨年度は「飼料・肥料高騰支援対策事業」や「酪農経営緊急支援事業」など申請支援を行いました。今後も総力をあげて、地域の農業を守り、農家支援に粉砕砕進取り組んで参ります」と挨拶しました。

続いて、JAしまねの山根盛治副組合長が「4年ぶりですが、総代の皆様には、本日説明する内容について、活発なご意見やご提案をいただきたい」と話しました。

座長には、大西正富副総代長（第5選挙区・八束美保閣プロック）を選出。JAしまねと、くにびき地区本部の令和4年度の事業報告、新年度の事業計画などについて説明し、出席者から意見、要望がありました。（11ページ「Q&A」参照）

こうした意見や要望を踏まえ、くにびき地区本部が組合員の皆様から信頼され満足いただけるよう、今後も役員一同事業運営にあたって参りますので、変わらぬご支援ご協力を宜しくお願いします。



山根副組合長



越野本部長



大西正富座長

くにびき地区本部の概況

令和4年度事業実績（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	3,106,006	事業管理費	2,975,172
信用事業	1,182,719	事業利益	130,834
共済事業	1,004,775	事業外利益	232,887
購買事業	388,780	事業外費用	37,759
販売事業	110,745	経常利益	325,962
保管事業	17,425	特別利益	72,978
加工事業	8,989	特別損失	210,458
利用事業	103,092	税引前当期利益	188,482
葬祭事業	273,061	法人税・住民税等	45,533
宅地等供給事業	24,138	当期剰余金	142,949
その他事業	1,051		
指導事業	▲8,772		

※本店配賦を含む。

くにびき地区本部 組合員数（令和5年3月31日現在）

（単位：人、団体、戸）

正組合員			准組合員			合 計	戸 数		
個 人	法人・団体	合 計	個 人	法人・団体	合 計		正組合員	准組合員	合 計
8,946	39	8,985	28,995	123	29,118	38,103	7,070	22,424	29,494

くにびき地区本部 役職員の状況（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

役 員			職 員					合 計
常勤役員	非常勤役員	合 計	総合職	専門職	一般職	(うち営農指導員)	(うち本店勤務職員)	
2	3	5	216	30	15	(14)	(30)	261

令和5年度 くにびき地区本部



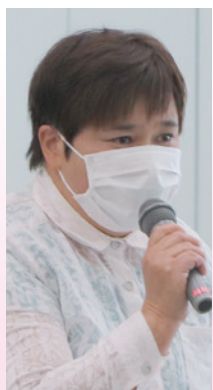
Q&A



石倉政司総代



稲田宗総代



永江りえ総代

Q¹ 石倉政司総代（八雲）

正組合員の減少傾向の理由について、相続による法定脱退かと推察されるが、次世代にうまくバトンタッチできていないのではないかと懸念している。正組合員減少がそのまま進めば、JAの財務基盤、収支基盤も危うくなると思うが、どう考えているのか。

Q² みどりの食料システム戦略について、有機米、特別栽培米は具体的にどのようなスタンスで向かっていくのか。

Q³ 現在、行政を実施主体として「地域計画」を策定し、目標地図を作成するにあたり、検討の場にJAも参加すべきと思っているが、JAのスタンスについて回答いただきたい。

Q⁴ 稲田宗総代（八雲）

肥料高騰の対策として、堆肥を併用し肥料費を削減することが出来るかを主食用米の品種別に説明をお願いしたい。

Q⁵ 永江りえ総代（宍道）

鳥根県の種雄牛「久茂福」の精液について、鳥根県畜産技術センターで繋留してるが、実状は、他県でも「久茂福」の産子の買い付けが可能のため、県市場では価格が上がらない状況である。

鳥根県種雄牛の県外流出を止めていただきたい。

A¹ 山根副組合長、竹下常務

正組合員の減少については、相続による脱退が非常に多い。組合員が減少すれば経営基盤も農業基盤も弱体化するため非常に危惧している。

また、農業の事業承継については、農中と連携し、7月に「事業承継セミナー」を開催予定である。農業リスク診断含め積極的に相談いただき、事業承継の対応について努力する。

A² 山根副組合長

目標は、水稻50haマーケットインの観点より有利販売先を確保し、生産者より全量買入を行い、有機米の有利販売に結び付けていく。

A³ 山根副組合長

「人・農地プラン」の作成については、行政主体であり地域ごとに取組み状況は異なると思うが、JAのスタンスとしては参画し連携しながら対応すべきと考える。

A⁴ くにびき地区本部 営農経済部 高木部長

基本的には堆肥を投入した場合の化学肥料の施用量は、堆肥の散布する量、散布時期によって異なります。また堆肥に含まれる窒素成分のうち窒素効率を想定し化学肥料の施用量を決めます。

さらに堆肥等の散布時期により肥効が変わります。特に秋に圃場散布した場合は、堆肥中の窒素成分が流れ出ることが想定されます。

使用にあたっては、営農指導員にご相談ください。

A⁵ 山根副組合長

全国和牛能力共進会での「肉牛の部」の成績は、素晴らしい結果であった。しかし、種牛の部については、県種雄牛の育成、増頭に課題もある。鳥根県では子牛出荷数が少なく、県外購買者の買い付けに結びついていない状況であり、JAしまねとして継続した増頭対策を支援し、繁殖和牛農家にも努力いただき、いい牛、いい子牛が高値で取引されるよう、できる限りの支援をしていく。

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日
～令和5年3月31日



上定市長(右)に目録とカーブミラー寄贈趣意書を手渡す越野本部長(9月26日 松江市役所)



グリーンかわつ店オープン(5月26日)

給拡大に努めました。

- **農業機械**—農家訪問活動を強化し、組合員サービスの向上と農機担当者のレベルアップに努めました。TACと連携し、コスト低減に繋がる「共同購入トラクター」の提案を行いました。

生活

区分	実績	備考
自動車	258,347千円	車両販売 228,777千円 整備部品 29,569千円
LPガス	278,150千円	供給 264,927千円 ガス器具 13,223千円
生活資材	104,415千円	シロアリ工事 55,768千円 テレフォンショップ 30,112千円 その他 18,535千円

葬祭

- 葬儀施行件数は617件(前年度613件)となり、うち「虹のホール」の会館利用は424件、会館利用率68.7%(前年度409件、66.7%)となりました。

資産管理

- 組合員の資産管理および高齢化対策並びに次世代対策として、資産相談センターにおいて相続を中心とした相談業務に取り組み225件(前年度201件)の相談に対応しました。

信用

- 農業と地域、組合員・利用者をつなぐ金融商品の提供として、夏と冬の定期貯金キャンペーンを実施し、精力的に個人貯金増強に取り組み、貯金残高は1,409億7百万円(前年度1,420億9百万円)となりました。
- 地域の農業メインバンク機能強化の取り組みとして、TACとの情報連携強化を図り、低利で利用しやすい農業資金の提供に努めました。新規貸出実績は99件、251,763千円(前年度82件188,500千円)となりました。
- 個人貸出金については、住宅・マイカー・教育ローンを中心に取り組み、特に子育て世帯を中心に、JAしまねで借入れ頂く「魅力ある金利」を提案可能とした、「子育て応援宣言」を引き続き実施しました。貸出金残高は496億12百万円(前年度489億78百万円)となりました。
- 年金指定口座獲得について、受給権が発生する方への訪問や無料の年金相談受付を随時行い、新規指定口座獲得に取り組みました。また、JA以外の受給者へ向けた年金指定替え訪問を実施しました。また、3月末の年金受給者数は13,791名(前年度14,015名)となり、プレ年金受給者層へは年金予約獲得訪問を行い202件の予約実績(前年度215件)となりました。
- 年金友の会の活動として、3年ぶりに「グラウンドゴルフ大会」を開催したことに加え、第1回目となる「ゴルフコンペ」を開催しました。
- 資産形成・資産運用のサポートとして、組合員・利用者本位の業務運営を行う中で、投資信託

営農指導・販売

は、生育も順調で軟果や被害も少なく計画以上の出荷となり、県外市場を中心に39.2t(前年度29.1t)の出荷量となりました。東出雲町特産「畑ほし柿」は瀬戸内市場、「あんぼ柿」は広島、京都市場を中心に出荷しました。販売面では、全国的に豊作でしたが、市場へのアプローチや年末商戦の需要もあり、販売単価は、前年より高くなりました。

- **牡丹**—お歳暮・正月向けを中心とした牡丹鉢花について開花調整期間中は順調に生育し、消費者需要に対応する数量を確保する事ができ、出荷量は4,484鉢(前年度4,028鉢)となりました。苗木用の普通苗は、生産量の減少により出荷量が9.9万本(前年度10万本)と減り、既存の販売先との繋がりに重点を置いた販売に取り組みました。
- **そば**—播種は、順調に作業でき、発芽は良好でした。9月の台風による倒伏や、受粉時期の高温により虫の動きが悪く結実が不十分であったことが収量に影響しました。栽培面積は123.4ha(前年度135.6ha)、収量は32t(前年度22t)となりました。
- **畜産**—一和牛・子牛価格は、前年より、落ち着いてきたことから、一定の相場で推移しました。子牛出荷頭数は137頭(前年度145頭)と前年より若干減少しました。



さんちよく営農塾作業の様子(3月11日 中海干拓地)

主な農産物販売高

米	628百万円
野菜	965百万円
果樹	72百万円
畜産物	196百万円

保管

- 米の集荷・検査買入数量は、下佐陀倉庫985t(前年度1,350t)、ライスターミナル「米蔵」1,305t(前年度1,318t)の実績となりました。また、穀物検査業務については、国の検査基準に従い適正な検査を実施しました。

加工

- 雲州人参一出荷量は82.0kg(前年度62.0kg)となりました。また、「種苗確保」に取り組みました。
- 茶—一番茶は、4月の霜害の影響により摘採量は減少しました。秋番茶は、夏以降の降雨が少なかったこともあり、摘採量は減少しました。茶工場取扱量は、一番茶、秋番茶の総計が19.6t(前年度22.1t)となりました。また、全役職員による販売活動(サンサン運動)を継続実施しました。

利用

- 育苗—水稻苗は、82,751箱(前年度87,149箱)の育苗を行いました。野菜苗は、12,736トレー(前年度14,527トレー)の育苗を行いました。
- 米穀乾燥調製施設—カントリーエレベーター「稲蔵」1,025t(前年度940t)、鹿島ライスセンター147t(前年度202t)、南ライスセンター333t(前年度347t)の処理実績となりました。
- 無人ヘリ防除—水稻の防除面積は、240.8ha(前年度289.7ha)の散布実績となりました。

購買

- 生産資材—組合員宅へ注文書を直送する「個別配布方式(ダイレクトメール)」で、年間3回の配布予約取りまとめを実施しました。また、水稻肥料・農薬の早期予約取りまとめを実施し、利用高奨励措置を設けながら、生産資材の供

くにびき地区本部情報



第52回 日本農業賞ライスフィールド(南)「大賞」受賞
(3月10日)



あったか元気便応援販機を
地区本部玄関横に設置(2月28日)



年金友の会グランドゴルフ大会
(10月28日)

員外29名)であり、ほぼ全員から「集落座談会アンケート」を回収しました。次年度以降、アンケート結果を基に、集落委員の役割、今後の集落座談会のあり方についてプロジェクトを設置し検討していきます。

- **広報**—JAしまね広報誌「JAしまねびより」やホームページ等により広報活動を展開しました。
- **教育文化活動**—協同組合の理解促進を深めるため、「家の光三誌(家の光・ちゃぐりん・地上)」「日本農業新聞」など教育資料の普及拡大に取り組みました。
- **組合員・地域住民との絆づくりの一環として**「支店だより」を全支店が発行し、より身近な情報発信に取り組みました。
- **くらしの活動**—「地域貢献・地域活性化」に取り組むグループ・団体等の多様な取り組みについて、「1団体」を表彰し、フードバンク・子ども食堂活動支援の表彰において「なないろ食堂運営委員会」に活動支援を実施しました。
◆ **子どもがいる「生活困窮世帯」**に必要な食糧等を届ける「フードバンクしまね“あったか元気便”」に協力し、食品提供に取り組みました。島根県で第一号となる「フードバンクしまね“あったか元気便” 応援販機」を当地区本部に設置し、売上の一部を寄付する取り組みを開始しました。
◆ **くんにびき青年連盟とくんにびき女性部**で協力し、3年ぶりに「親子いもほり大会」を開催し、39組149名の参加がありました。
- **健康管理活動**—JA島根厚生連・行政と連携し、「特定健診(集団検診)」「女性部検診」「胸部CT健診」「腹部超音波検査(腹部エコー)」「大腸がん検診」「乳がん検診(マンモグラフィ)」を実施し、健康づくり活動や生活習慣病予防および疾病の早期発見に取り組みました。また、営農経済部と連携し農業法人会会員を中心に、担い手人間ドックに取り組みました。

ともに、「地域の代表」として総代や地区本部運営委員、各地域の組合員等に積極的に参画してもらい意見を反映しつつ事業改革・業務改善に取り組む体制を構築しました。

- **当地区本部が保有している「不稼働資産(長期間利用されていない空き店舗や倉庫、土地等)」**について、流動化(有効活用や整理)をすすめていくため、11月に「不稼働資産流動化プロジェクト」を設置し、地域組合員とJAで協議・検討を実施しました。
- **JAグリーン・グリーンショップ**について、産直農産物委託販売における魅力ある売り場づくりと、生産資材購買店舗の存続可否の検討、存続するのであれば相当の収支改善を図るため、1月に「JAグリーン・グリーンショップ改革プロジェクト」を設置し、地域組合員とJAと一緒に今後のあり方について協議・検討を実施しました。
- **信用・共済事業改革**として、支店業務の効率化・集約化を進めるため、3月より松江東(川津・島根・八束・美保関)、松江北(法吉・古江・鹿島)、松江南(津田・東出雲・八雲)、松江西(乃木・宍道・玉湯)の「4ブロック体制」による支店の信用・共済事業の運営体制を実施しました。また、支店融資事務について、統括支店新設部署(ローンセンター)へ移管することで効率化を図るとともに、専門部署の設置によって事務堅確性を高めコンプライアンス強化に取り組みました。
- **島根・八束・美保関支店**に「昼休業(11:30~12:30)」を導入し、窓口休止時間帯を設け効率的な店舗運営を図りました。
- **「コンプライアンス・プログラム」**に基づく年間行動計画を策定し、実践しました。また、コンプライアンス遵守・不祥事未然防止の強化に取り組みました。

の販売に取り組み、販売額は162,385千円(前年度114,085千円)となりました。

- **無料税務相談会**を管内9会場(開催回数32回)で開催し、相続・贈与税や所得税を中心に61件の相談に対応しました。
基幹となる支店(川津・法吉・津田・乃木支店)に集約している融資業務を統括支店新設部署(ローンセンター)へ移管することで効率化を図り、地区本部融資業務の事務堅確性を高めコンプライアンスを強化しました。

共 済

- **組合員・利用者**に感謝の気持ちを伝えるとともに、絆の強化を目指し、「3Q訪問活動(あんしんチェック)」を実施しました。JA事業や共済事業に関連した情報提供並びに未請求案件(手術、自然災害など)の解消を目的に、17,488人のフォロー訪問活動を行いました。
- **共済契約保有高は、満期契約の増加や転換契約・解約等により前年度より減少し、期末保有高は5,077億円(前年度5,265億円)となりました。**
- **多発する自然災害や火災**にもしっかり備えることができる「建物更生共済むきプラス」や、新仕組みの「認知症共済」「農業者賠償責任共済」の積極的なお知らせ活動を中心として、より魅力あるJA共済の普及に取り組み、JAしまね長期共済推進目標4,300,000Pに対し実績ポイント4,863,394Pで達成し、普及拡大につながりました。※達成率113.1%(前年度6,159,600P)
- **短期共済は、自動車共済の新規獲得および保障内容充実に向け、スマイルサポーター・L.A・安心サポーターの連携強化**に取り組み、新規・継続を含めた契約件数は増加し22,155件(前年度22,073件)となりました。また、最高水準保障のクルママスター占有率は27.7%(前年度27.6%)となりました。万が一の自動車事故に際し、迅速な初期対応とネットワークを利用した契約者サービスの提供に取り組みました。
- **ペーパーレス・キャッシュレス**手続きによる業務効率化・事務負担軽減を図り、ペーパーレスについては79.7%、キャッシュレスについては89.7%の定着化が図れました。
- **社会貢献活動の一環として、「松江市へのカープミラー(40基)の贈呈」「管内中学校への反射材の贈呈(タスキ904枚、テープ1,799枚)」および「スタントマンによる自転車交通安全教室の開催」**など交通安全意識の啓発に努めました。

JAしまね農業振興支援事業・業績還元資金

● 農業振興支援事業

担い手や農業者へ、農業生産の拡大による農家所得の向上を図るため、「園芸重点6品目産地拡大支援」「ハウス等整備事業支援」として、合計で1,988千円の支援を行いました。

(単位:千円)

支援名	内容	金額
園芸重点6品目産地拡大支援	キャベツ(苗、機械) 219千円・たまねぎ(機械、種子) 562千円の支援実施(支援対象—1農業法人、認定農業者3名)	781
	ハウス等整備事業支援	
合計		1,988

● 業績還元

組合員・利用者に対し、令和4年度のJAの事業利用高に応じ「おさいふカード(総合ポイントカード)」へのポイント付与として、合計18,265千円分の還元を実施しました。

(単位:千円)

資金使途	内容	金額
組合員・利用者ポイント還元	令和4年度の組合員・利用者の利用状況に応じ、「おさいふカード」へポイント還元を実施。	18,265

組織・広報・くらしの活動

- **農政会議**—肥料・飼料等高騰に係る緊急支援処置に関する要望書を松江市へ提出しました。要望書では「肥料、生産資材、燃料等の高騰に対して、実効性のある対策を早期に講じるよう県に対して働きかけるとともに、市としても独自の支援を行うこと」「飼料の高騰に対して、県の畜産経営緊急支援事業でカバーされない畜産農家へ対して市として独自の支援を行うこと」の2項目について緊急に要望を行いました。また、関係団体と連携した行政との懇談会を開催し、農業施策等の要望・意見交換を行いました。
- **青年連盟**—地域の幼稚園に対し「田植え・稲刈り体験」の農業体験実習を実施しました。また、地域の小学校に対し「イチゴの授業」、農林高校への「出前授業」と行政と連携した食農学習を実施し、農業理解促進に取り組みました。
- **女性部**—健康グループによる「椅子ヨガ講座」を開催し、営農加工グループ各支部では「こんにやく作り・手作り味噌・ハムづくり講座」を実施しました。県下女性部の活動として「米一握り運動」を行い、くんにびき女性部として373kgの米を集め、松江市内の子ども食堂、フードバンクへ寄贈しました。また、JAしまね広報誌での「くんにびき女性部からのおすすめ料理」や、山陰中央新報の「かあちゃんの一押し献立」において料理を紹介しました。
- **「女性大学」**—新型コロナウイルス感染状況を鑑み、女子大学(サンサン女子大)の開講は中止しました。
- **集落座談会**—1月~2月に、全24会場で3年ぶりとなる実出席により開催しました。参加者は450名(正組合員374名、准組合員47名、組合

経営・管理

- **農業情勢や事業環境が厳しい中、10年後を見据え「めざす姿」として策定した「第3次中期経営計画」**ならびに「第3次農業戦略実践3か年営農計画」の初年度として、各項目の進捗管理と目標達成に向けた事業改革・業務改善に取り組まれました。
- **営農・経済事業改革**として、Aコープかわつ閉店に伴い移転することとなっていた「JAグリーンかわつ」について、5月に「みしまや東川津店」のオープンに併せ、インショップとして移転しました。移転後は、出荷者協議会や(株)みしまやと協力し、売上高の増加に向け取り組みました。
- **組合員とJAの対話を**基本的に事業改革をすすめていくため、9月に「くんにびき改革推進プロジェクト」を設置しました。これにより、課題やテーマごとにプロジェクトを設置すると

基本方針

JＡしまねでは、「第3次中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」と「農業戦略実践3カ年営農計画（令和4年度～令和6年度）」において、「めざす姿（10年後）」である、①持続可能な農業の実現、②豊かでくらしやすい地域社会の実現、③協同組合としての役割発揮の実現に向けた取り組みを掲げています。令和5年度は、各計画の第2年度として各取り組みの目標達成が着実となるよう、役職員が一体となり事業部門・地区本部の方針・重点事項を実践します。

さらに、中長期を見通し重点的に取り組む6つの柱として、①持続可能な食料・農業基盤の確立、②持続可能な地域・組織・事業基盤の確立、③不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化、④協同組合としての役割発揮を支える人づくり、⑤「食」「農」「JA」にかかる県民理解の醸成⑥持続可能な社会実現に向けたSDGs達成への貢献を位置づけます。そして、地区本部事業方針を主体に各事業総力を挙げて取り組んでまいります。

令和5年度事業計画

令和5年4月1日
～令和6年3月31日

持続可能な農業・地域共生の未来づくり ～不断の自己改革によるさらなる進化～

めざす姿(10年後)

持続可能な農業の実現

豊かでくらしやすい
地域共生社会の実現

協同組合としての役割発揮

中長期的に考慮すべき環境変化

農業・農村の危機

組織・事業・経営の危機

協同組合の危機

- ・ 組合員・担い手・農地の減少
- ・ 持続可能な社会実現への要請
- ・ コロナ禍による価値観・行動の変容
- ・ 拡大するデジタル化

新たな事業機会の確保

中長期(10年後)を見通して
重点的に取り組む6つの柱

持続可能な2つの基盤確立とそれを支える土台

① 持続可能な食料・農業基盤の確立

② 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

③ 不断の自己改革の実践を支える
経営基盤の強化

横断的な取り組み

④ 協同組合としての役割発揮を支える人づくり

⑤ 「食」「農」「JA」にかかる県民理解の醸成

⑥ 持続可能な社会実現に向けたSDGs達成への貢献

対話を通じた不断の自己改革

【3つの基本目標】

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

くにびき地区本部情報

くにびき地区本部事業方針

<営農・農業振興>

- ① 地域農業を支える多様な担い手の育成支援とJA農業コンサルティング事業の活用
- ② 担い手経営体の労力確保対策に向けた支援方法や体制の検討
- ③ 県・市と連携した集落営農の組織化・法人化の支援
- ④ 米販売について本店へ一元化により販売機能を最大限活用し、結びつき米の安定取引の維持・拡大
- ⑤ 「良質米生産の推進と売れる米作り」に向けた「きぬむすめ」「つや姫」の更なる品種誘導、「つきあかり」について令和6年産から栽培に向けての取り組み
- ⑥ 広域施設の活用により水田園芸重点品目として「島根たまねぎ」の生産振興
- ⑦ くにびきキャベツ・西条柿・大根島牡丹・新たな地域特産品目（南瓜、馬鈴薯、レタス）などの生産振興
- ⑧ 「優良雌牛保留対策」の継続的な事業活用による更新・増頭対策
- ⑨ さんちよく営農塾を活用した新規産直会員の増加
- ⑩ 地元スーパーと連携したインショップとJA直営店の売り場の充実

<地区本部運営>

- ① 経営基盤の確立
- ② 事業改革
 - ・ 組織再編
 - ・ 機構改革
 - ・ 事務集約化
 - ・ くにびき改革推進プロジェクト等
- ③ リスク管理の強化
- ④ 組合員の拡大
- ⑤ アクティブメンバーシップの確立
- ⑥ 人材育成
- ⑦ 安全で働きやすい職場環境づくり

令和5年度事業収支計画（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
事業総利益	2,938,266	事業管理費	2,924,154
信用事業	1,158,538	事業利益	14,112
共済事業	940,455	事業外利益	209,383
購買事業	377,192	事業外費用	35,738
販売事業	97,803	経常利益	187,757
保管事業	15,907	特別利益	0
加工事業	12,362	特別損失	288
利用事業	98,724	税引前当期利益	187,469
葬祭事業	244,663	法人税・住民税等	44,129
宅地等供給事業	17,340	当期剰余金	143,339
その他事業	708		
指導事業	▲25,426		

※本店配賦を含む。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くびき地区本部の取り組み～

水稻栽培講習会を実施

くびき地区本部は6月2日・3日の両日、4会場（Aコープたまゆ会議室・中海干拓育苗研修センター・営農総合センター・古江支店会議室）で、令和5年産水稻栽培講習会を実施し42名の米生産者が参加しました。

同講習会は、近年の温暖化に伴い品質の低下が顕著となってきたことから、適切な肥培管理が求められており、良質米生産と農業所得の増大に繋げることを目的に実施しているものです。

Aコープたまゆ会場の講習会では、指導販売課の片寄俊一園芸特産係長が、管内の生育状況、肥培管理について動画を使って説明。

生産者からは、「溝切りについて、粘る圃場は作業がしにくいが良いやり方はないか」「切り藁が春までに分解されず、鋤きこんだ時にガスが発生するのはなぜか」との質問に、「水を抜き、少し固めた後に再度水を入れて作業してください」「残った藁の未分解によりガスが発生するため、切り藁を分解させて鋤き込み分解を促してください」と回答しました。



講習会を受講する生産者



講習会で説明する片寄係長(左端)

生産技術の向上を目指す！ 合同視察研修会を開催

くびき農業法人会（岸本定朝会長・18法人）、くびき稲作協議会（宮廻彰夫会長・85名）が合同で7月19日～20日、視察研修を実施し、会員と事務局27名が参加しました。

有機米栽培の先進事例を研修し、生産技術向上や良質な農作物の生産につなげることを目的に4年ぶりに開催したものです。

初日は、兵庫県北部のJAたじまを訪問し、営農生活部水田農業振興課の伊澤智嗣係長から、特別栽培米の取り組み事例である安全・安心なお米と多くの生き物を同時に育む「コウノトリ育む農法」について説明を受けました。

二日目は、京都府久世郡にあるKTC（京都機械工具株）ものづくり技術館を訪ね、工具製造工程見学や館内展示の汎用工具や専用工具の使い方などを研修しました。



ものづくり技術館で説明を聞く参加者

「農作業には欠かせない機械と工具の使い方が学べ、参考になった」と感想も寄せられ、有意義な視察研修となりました。

参加者からは「安全安心な美味い米づくりが、環境への配慮につながる」とも勉強になった。



合同視察研修会参加者の皆さん



「コウノトリ育む農法」の説明を聞く参加者

お米作りの出前授業

くにびき青年連盟が園児と交流

くにびき青年連盟（上山根有史委員長）は7月4日、育英北幼稚園つき組の園児28名に、お米の種まきから食べるまでを一緒に学ぼうと上山根有史委員長と安達隆行副委員長、野津喜洋顧問が先生となり出前授業を行いました。

園児とは、5月30日に田植えを行っており、お米ができるまでをもっと詳しく知ってもらおうと実施しました。



スクリーンを使って授業をする野津盟友

最初に、お米ができるまでの過程や食事の大切さなどを、スクリーンに映し出し画像を見ながら説明。また、盟友が持ち込んだ道具の田車（たぐるま）や唐箕（とうみ）を動かしたり、米30kgの米袋に触れたり、植えた苗の生育状況を見たりするなど、園児たちと楽しく交流しました。

参加した園児からは「田車の刃は、なぜとがっていますか」「苗からお米の実がどうやって出来ますか」などの質問があり、盟友が分かりやすく答えていました。

最後には、食農教育をすすめるJAグループの子ども雑誌「ちゃぐりん」8月号を全員にプレゼントし、お米の授業を終えました。

上山根委員長は「活動を通じて、農業に興味を持ってもらえるとうれしい。今後も授業を継続して行いたい」と語りました。

10月には、稲刈りを体験する予定です。



唐箕の使い方を説明する安達盟友



お米の授業を終え「ちゃぐりん」を手にする園児



青年大会でくにびき青年連盟

野津盟友が最優秀賞を受賞！



大会で発表する野津盟友

令和5年度島根県JA青年大会を6月28日、出雲地区本部会議室で開催し、69名が参加しました。くにびき青年連盟からは、野津喜洋盟友が「青年の主張」の部で、「委員長はつらいよ。でもやってよかった！」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞しました。野津盟友は、9年間委員長を務めた経験が、自分の成長は元より、農業や地域のために役立ったことをまとめ発表しました。

この大会は、県内にある青年連盟の組織を対象に、JA青年の声を掘り起こし、組織活性化のエネルギーとするため毎年行われており、盟友の農業に対する思いなどを発表する「青年の主張」の部と、各組織による「活動実績」の部に分け審査されるもの。

7月14日には、野津盟友が地区本部を訪れ、越野浩昭本部長に結果報告と11月の中国四国大会への意気込みについて語りました。

野津盟友は「盟友や関係者の皆さんの協力で受賞することができました。ぜひ全国大会を目指して、発表に臨みたい」と話しました。越野本部長は「私が青年連盟の事務局長をしていた時に、野津さんに委員長を務めていただき、感慨ひとしお。ぜひ、全国大会に出場してほしい」とエールを送りました。野津盟友は、11月16日に広島県で開催される中国四国地区青年大会へ県代表として出場します。



越野本部長(左)に報告する野津盟友

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて

女性部営農加工グループ

**夏の暑さを乗り切ろう！
夏野菜と酢を使った料理に挑戦**

くにびき女性部営農加工グループ（森口順子代表）は7月20日、教育文化センターSan'san館で、エコーコープの酢を使った「夏野菜を食べて夏バテ予防講座」を開催し、部員37名が参加しました。

当日は、お酢の製造元である大興産業株式会社（岡山県井原市）の笠原良太主任を講師に迎え、夏野菜とエコーコープの酢を数種類使った料理に挑戦しました。初めに、森口代表が「4年ぶりに料理講座が開催でき、みなさんとお会いできたことを喜んでます。今日は、楽しい時間を共に過ごしましょう」と挨拶。その後、笠原主任より新商品の紹介やレシピの説明を受けた部員は、7班に分かれて、準備された材料とレシピを見ながらお酢料理4品を作りました。美味しく出来上がった料理を食べながら、感想などを話し楽しいひとときを過ごしました。

参加した部員は「酢の種類がたくさんあり、色々な使い方があることを知った」「楽しく美味しい料理を作ることができた」と笑顔で話しました。



酢の紹介をする笠原主任



- ・さんま蒲焼缶の混ぜ寿司（左下）
- ・夏野菜とベーコンのスープ（右下）
- ・カボチャとピーマンのナムル（左上）
- ・オクラの肉巻き黒酢ソース（右上）

レシピはこちらから



公式ホームページ

JALまね 検索



「オクラの肉巻き」を作る部員の皆さん



くにびき女性部フレッシュユミズ部会

トウモロコシの収穫に大満足！

くにびき女性部フレッシュユミズ部会（池田琴恵部会長）は7月15日、東出雲町の中海干拓地にあるみよちゃん農園の圃場で「トウモロコシの収穫講座」を開催し、部員14名が参加しました。

はじめに、みよちゃん農園の奥井裕介氏より収穫するトウモロコシについて、「おひさまコーンという品種で、種まきから88日で収穫を迎えます。この品種は葉が大きくたくさんある方が栄養を蓄えて大きく育ち、糖度が高くなります。収穫は、一番大きな一番果を収穫してください」と特長や収穫の仕方について説明を受けました。部員たちは、約100mの畝で、葉の生い茂った幹から、トウモロコシの実を一つ一つ丁寧に収穫しました。

快晴で暑い中での収穫でしたが、部員は「暑かったが、家に帰って食べるのが楽しみ」と、トウモロコシを手には笑顔で話しました。



奥井氏の説明を受ける部員

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

乃木ライオンズ準優勝！ JAカップ松江・隠岐地区予選大会

JAカップ第40回島根県学童軟式野球選手権大会松江・隠岐地区予選大会が7月15・17日、22日の4日間、深田運動公園野球場（鹿島町佐陀本郷）などで開催され、22チームが競い合いました。

同大会は地域スポーツの発展に貢献することを目的とし県軟式野球連盟と山陰中央新報社が主催し、JAしまね、JA共済連島根が特別協賛しています。開会式では、来賓を代表してくにびき地区本部の越野浩昭本部長が始球式を行いました。

決勝では、昨年優勝の乃木ライオンズと隠岐アキレスの戦いとなりました。試合は3回、隠岐アキレスの先制点で試合が動き、乃木ライオンズも同回に2-2の同点に追いつきましたが、4回と5回に隠岐アキレスが3点の追加点。犠打と盗塁で得点を重ねた隠岐アキレスが乃木ライオンズに5-2で勝利し、3年ぶり2度目の優勝を果たしました。

閉会式では、来賓を代表して同地区本部の中村隆副本部長が「準優勝の乃木ライオンズの皆さんは、最後まで諦めず戦った姿に健闘を讃えます。また、見事優勝された隠岐アキレスの皆さんも、自分たちの力を信じ、信念をもって戦った姿はとても素晴らしいです。地区代表として、県大会で大活躍されることを期待します」と激励しました。



県大会は8月19日、20日に松江市菅野球場で開催される予定です。



始球式を務めた越野本部長



優勝した隠岐アキレスと中村副本部長（後列右2人目）



準優勝乃木ライオンズに盾を授与する中村副本部長

4年ぶりの通常開催に熱気！ JAくにびき資産管理協議会総会開催



祝辞を述べる 越野本部長

JAくにびき資産管理協議会（松浦嘉昭会長、160名）は7月9日、第26回通常総会を松江ニューアールホテルで、会員と来賓など48名が出席し開催しました。

当日は、くにびき地区本部越野浩昭本部長、JA全農島根施設農住事務所後藤千昭所長が来賓として出席。冒頭、松浦会長が「コロナ禍で4年ぶりに通常総会を開催することが出来た。原点に立ち返り、人との繋がりを大切に、その繋がりが組織を盛り上げる原動力となるため、この総会を有意義なものにして欲しい」と挨拶。また、来賓の越野本部長が「資産相談センターと支店がしっかりと会員の皆さんと対話を図り、資産管理と次世代対策に努めてまいります」と述べました。

その後、津田支部の田中章夫会員を議長として、議事進行。令和4年度の活動報告と令和5年度の活動計画など、全議案が承認されました。また役員改選も行われ、松浦会長と副会長全員が再任されました。

総会後には研修会を行い、松江市と松江地方法務局の職員を招き「土地利用制度の考え方について（線引き制度の廃止）」「相続土地国庫帰属制度と相続登記の義務化」についてそれぞれ受講。組合員の所有資産の多くを占める不動産に関する各制度の学習の場となり、多数の質問が挙がると共に、松浦会長が「公的機関との意見交換の場を、これからも継続して設けてもらいたい」と述べました。

JAくにびき資産管理協議会役員（敬称略）

- 会長 松浦嘉昭（法吉支部・再任）
- 副会長 仙田 徹（川津支部・再任）
- 大谷正明（津田支部・再任）
- 目次俊二（乃木支部・再任）
- 安部知富（中原支部・再任）



総会で挨拶をする松浦会長

作ってみませんか? くにびき女性部からのおすすめ料理



イカと夏野菜の南蛮風、 ゴーヤとキャベツのサラダ

今回は、ミニトマトをたくさん使った、夏バテしやすい時期にサッパリと食べれるイカと夏野菜の南蛮風と、シャキシャキ食感がくせになるゴーヤとキャベツのサラダを紹介します。

トマトは、胃腸の働きをよくして消化を助ける働きと体を冷やす作用があります。食べ過ぎて胃腸を冷やさないよう、体を温める作用のあるショウガも組み合わせました。

今月の料理人 鹿島支部のみなさん

(前列左から) (後列左から)
中村 妙子 さん 井上紀美枝 さん
川上 春江 さん 平塚万隆美 さん
安達富美子 さん 川下千寿子 さん



イカと夏野菜の南蛮風 (4人分)

- ・イカ(刺身用・胴) … 300g
 - ・塩コショウ … 少々
 - ・薄力粉 … 適量
 - ・タマネギ … 1個
 - ・ミニトマト … 20~30個
 - ・サイインゲン … 10本
 - ・ショウガ … 1片
- 【A. 漬け汁】
- ・だし汁 … 200cc
 - ・酢 … 150cc
 - ・さとう … 大さじ4
 - ・薄口しょうゆ … 大さじ3
 - ・赤トウガラシ … 1~2本 (小口切り)

作り方

- ①大きめのバットにAを入れてよく混ぜて、漬け汁をつくる。
- ②タマネギは薄切りにし、ミニトマトはへたを除いて縦半分切る。ショウガは細めの千切りにする。
- ③②を①に漬ける。
- ④サイインゲンを4cmの長さに切る。
- ⑤イカは片面に格子状に切り込みを入れ、3~4cm大に切り、軽く塩コショウを振る。全体に薄力粉をまぶし余分な粉を落とす。
- ⑥180℃に熱した油で、サイインゲン、イカの順にさっと揚げ、油をよく切り熱いうちに③に漬ける。ラップをして冷蔵庫で20分以上おいて味をなじませる。

ポイント

- ・イカを豚もも薄切り肉(200g)に、ミニトマトをニンジン(1/2本・5~6cmの千切り)に代えても美味しいです。
- ・油で揚げた材料は、油を切ったら熱いうちに漬け汁につけることで味がよくなじみます。

ゴーヤとキャベツのサラダ (4人分)

- ・ゴーヤ … 1本
 - ・キャベツ … 2~3枚
 - ・ちりめんじゃこ … 30g
 - ・ゴマ油 … 大さじ2
- 【A】
- ・薄口しょうゆ … 大さじ1
 - ・酢 … 大さじ1

作り方

- ①ゴーヤは縦半分に切り、スプーンで種とわたを除いてなるべく薄く斜めに切る。キャベツは芯を薄切りに、葉は千切りにする。
- ②①を水に10分ほどさらして水気をよく切り、器に盛る。
- ③フライパンに、ゴマ油とちりめんじゃこを入れて強火にかけ、ふつふつとしたら弱火にする。きつね色になり、カリカリになったら、②にかけ、混ぜ合わせたAを全体に回しかける。

9月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・予約先電話番号・時間
5	火	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00~12:00
6	水	税務相談会	乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00~12:00
7	木	税務相談会	統括支店 (TEL: 55-3028) 10:00~12:00

※事前にご予約をお願いします。予約先:開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローンセンターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※9月の土曜営業日は2日、16日、30日です。

◆お問い合わせは

0120-988-380

9月 ふれあい訪問日

9月14日(木)・15日(金)

夏の農業機械大展示会開催!

くにびき地区本部は7月21、22日の両日、農機センターにて「2023夏の農業機械大展示会」を開催し、208名の来場がありました。

展示会は、日頃の感謝と利用者の拡大などを目的に、組合員のニーズに応じた商品を取りそろえ毎年開催。訪れた来場者は、展示されたバッテリー農機の特設コーナーやラジコン草刈機の実演を真剣に見学し、性能の高さに興味を持っていました。

また、最新のGPS搭載の農機具や畦草刈機などバリエーション豊かなラインナップを用意。ほかにも、展示会限定特別価格でチップソーの販売もあり、来場者は買いました。



バッテリーコーナーで担当者(左から2人目)の説明を聞く来場者



ラジコン草刈機の実演をする山根祐二センター長(左端)と見学する来場者

第32回 ふれあい親子いもほり大会

日時：令和5年10月14日(土) 9:00~9:30 集合・受付
 受付：「JA中海干拓集出荷場」 松江市東出雲町錦浜431-2
 会場：「中海干拓地」 集合・受付後徒歩にて移動

《主催：JAしまねくにびき地区本部・JAしまねくにびき青年連盟/共催：JAしまねくにびき女性部/後援：家の光協会》

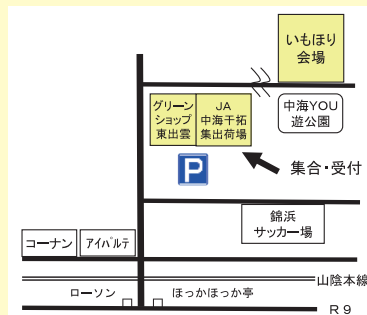


お申込みはこちらから



JALまね 検索

- ◆参加費：5歳以上1人につき500円(当日、現金にて申し受けます)
- ◆募集数：幼稚(保育)園・小学生とその保護者(保護者2名まで) 180名
- ◆参加申込：受付期間内に、ホームページ上に掲載の参加申込フォームにて受付します。詳しくはくにびき地区本部ホームページでご確認ください。
- ◆受付期間：令和5年9月1日(金)~令和5年9月22日(金)
 ※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
- ◆ご持参品：移植ゴテ・水筒・敷物をご持参ください。
- ◆注意事項：(1) 収穫袋は主催者で準備し、受付にて配布します。配布する袋以外での収穫は禁止します。
 (2) 本大会は、親子で大自然の中の「ふれあい」を目的に実施しています。大人だけの「芋収穫」の参加はご遠慮ください。また、クワ・スコップの持ち込みはお断りします。
 (3) 当日限定緊急連絡先：090-6835-5233
 (4) 少雨決行いたします。天候不順等により中止する場合は、当日の午前7:00までに、登録いただいたメールアドレスに連絡いたします。
 (5) お申込みいただいた個人情報は、今大会のみに使用いたします。



9:00~ 9:30 集合・受付
 9:30~10:00 開会式・ちゃぐりんクイズ
 10:15~11:15 いもほり
 11:15~11:45 表彰式・抽選会・閉会式
 ★ジャンボいもコンクール ★抽選会 ★女性部特製いもだんご汁販売 ★その他

◆お問い合わせ先：JAしまねくにびき地区本部総務課
 TEL 55-3000/メールアドレス kunibiki-event.kun@ja-shimane.gr.jp

くにびき地区本部 中途採用職員紹介

☆JAしまねくにびき地区本部の新しい顔!
 中途採用職員をよろしくお願ひします。

- ①趣味・特技 ②好きな言葉 ③自己PR



自動車センター
 なかくら さとし
中倉 聡志

- ①野球
- ②一球入魂
- ③これまでの経験を活かして皆様のお役に立てるようがんばります。

(令和5年7月1日付)

前売券販売中

8月27日(日)まで!!

世界各国の超人たちが繰り広げる変幻自在の凄技! 巨大テントでしか味わえない感動と興奮!
POP CIRCUS is coming to Town “サーカス”がまちにやってくる!

ポップサーカス松江公演
この夏、6年ぶりに開催

2023
7.17 mon ~ **9.18** mon
休演日 毎週木曜日と7/19(水)・8/30(水)・9/6(水)

旧県立プール跡地広場特設大テント
(松江市総合体育館西側)
無料駐車場あり※数に限りがございます

【特別協力】
JAしまねくにびき地区本部

組合員限定価格で入場券販売中(全席指定)

おとな **2,800円** こども **1,800円**
・通常3,000円 ・通常2,000円
●当日 **3,500円** ●当日 **2,500円** (3歳から高校生まで)

■現金のみのお取り扱いとなります。

※2歳以下は保護者の膝上で鑑賞無料です。 ※組合員とは、組合員と同一世帯に属する家族も含まれます。
※組合員以外の方でも、ご出資(1口1,000円)戴ければ、組合員価格を適用します。
●取扱店: JAしまねくにびき地区本部の各支店・総務課 (販売時間8:45~15:00 平日のみ)
JAグリーンつだ・かわつ (販売時間9:00~18:30)
●お問い合わせ先: 企画総務部総務課 TEL: 0852-55-3000 (平日8:45~17:00)

オープニング
セレモニー



JAしまねくにびき年金友の会 日帰り優待旅行

ラストイヤー トロッコ列車「奥出雲おろち号」に乗る
~2023年11月運行終了~

玉峰山荘での昼食と
秋の奥出雲巡り 日帰り



■旅行代金(大人お1人様・JR松江駅発着・税込)
~9月8日(金)まではJAしまねくにびき年金友の会会員様先行受付期間となります。
※お申込み(参加者)の代表者はJAしまねくにびき年金友の会会員様となります。

JAしまねくにびき 年金友の会会員価格 旅行代金(一般価格)
10,500円 13,500円

※小人代金(小学生以下):旅行代金(一般価格)よりお一人様1,000円引きとなります。
※小人(小学生以下):昼食はお子様ランチとなります。

JAしまねくにびき地区本部にて年金を受け取られている方(予約者含む)は、年金友の会会員価格でご参加できます。会員以外の方は一般価格となります。

行 程	○入場観光、○下車観光(施設には入りません)	食事
JR松江駅南口(9:00) 貨切バス	大東—木次駅(10:08)	朝:×
○トロッコ列車「奥出雲おろち号」		昼:○
	遅めの昼食となります	夕:×
三井野原駅—舞茸奥出雲直売所—玉峰山荘【昼食】		
○豆腐作り体験(作った豆腐200グラムを3つお持ち帰り)		
○奥出雲讃菓 松葉屋【お買物】—大東—JR松江駅南口(17:30)		

★交通機関の都合により行程スケジュールが変更になる場合があります。
*ご集合場所・出発時間は出発の1週間前にお届けする最終日程表にてご案内をいたします。 写真は全てイメージです。

旅行出発日 令和5年
10月 5日・6日・9日
11月 16日・22日

募集人員 各班20名様(最少催行人員各班16名様)
申込金 6,000円 ※旅行代金に充当します。
申込方法 農協観光山陰支店へお申込みください。
申込締切日 9月8日(金) ※但し定員になり次第締切とさせていただきます。
添乗員 同行いたします
食事条件 朝食0回、昼食1回、夕食0回
利用バス会社 仁多観光 又は同等クラス
(バスガイドは同行いたしません)

JAしまねくにびき地区本部
金融課
☎0852-55-3028
年金のお受け取りは近くで便利な
最寄りのJAをご指定ください

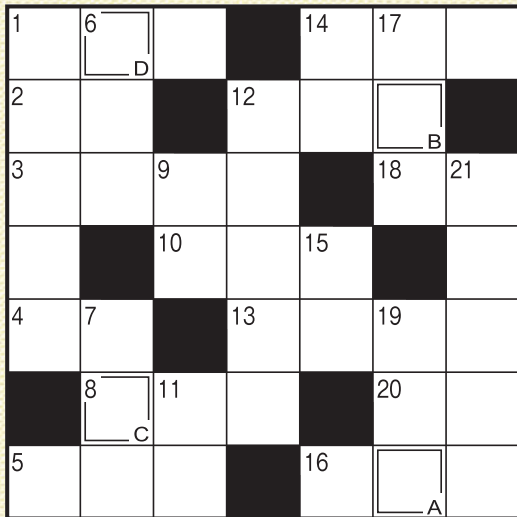
旅行企画・実施・旅行に関するお申し込み・お問い合わせは
ボンド保証会員 旅行業公正取引
一般社団法人日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 農協観光
山陰支店 ☎0852-26-2600
〒690-0085 松江市灘町1-7 松江プラザビル8F
総合旅行業務取扱管理者/ 河本 直明

くにびき地区本部情報



二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコロ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

- ①ボンベを担いで——ダイビングを楽しんだ
- ⑥アンダー——の左腕投手
- ⑦収穫期の田んぼで金色に輝きます
- ⑨陶磁器はこの中で焼き上げられます
- ⑪——に敬老の日のプレゼントをもらった
- ⑫「ギイー、チョン」と鳴く虫
- ⑭陽（よう）の反対語
- ⑮汁物をよそう食器の1つ
- ⑰十五夜に楽しむもの
- ⑰ピラフにホワイトソースをかけて焼いたもの
- ⑳父と母のこと

ヨコのカギ

- ①十五夜に飾る植物
- ②帰り道のこと
- ③葉はコアラの餌になります
- ④2の3——は6
- ⑤必要以上に子どもを甘やかすこと
- ⑧糞（あつもの）に懲りて——を吹く
- ⑩発車——の新幹線に何とか乗り込んだ
- ⑫奈良や和歌山がある地域
- ⑬漢字で書くと竜胆。青紫色の花を咲かせます
- ⑭台風——、よく晴れたね
- ⑯吉永小百合さんの場合はサユリスト
- ⑰ml、mgの「m」
- ⑳お金を借りると付くことも

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2023年9月1日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「サーフィン」



川柳の広場

最優秀賞

人生の添え木となつてくれる趣味

出雲市 北村 功様

優秀賞

ありがとう感謝で生きる老い二人

隠岐の島 上川 晃一様

佳作

夏陽射す老いも顔手に日焼け止め

浜田市 沖田 邦子様

捨てる事覚えて肩が軽くなる
奥出雲町 堀江 英子様
老いてから妻との時間愛おしい
江津市 山形ゆうき様
店頭のソーメン夏を連れて来た
出雲市 多久和敬子様
おらが春寅年七回恙無く
邑南町 渡辺 里枝様
駆け足で望まぬ老いがやって来る
江津市 湯浅志津子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりへ、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

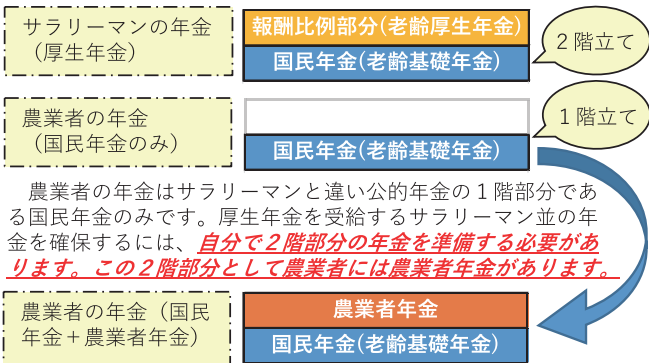


・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないで損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



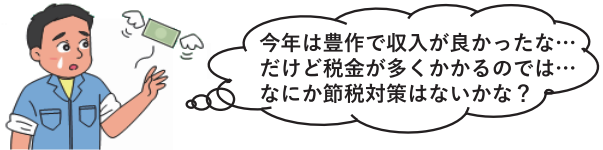
でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…

- 国民年金第1号被保険者 (国民年金保険料納付免除者を除く)
- 年間60日以上農業に従事
- 65歳未満

※ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者の方なら **どなたでも** 加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額（最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円）が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、**保険料の国庫補助**があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先
**最寄りのJA各支店に
お問い合わせください**

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

- 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852
- 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600
- 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852
- 隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



本誌は地球環境に優しい植物性インクを使用しております。



夏野菜と魚のポン酢和え



コメント

- ・夏野菜をたっぷり使用した主菜です。
- ・調味料はポン酢だけ！さっぱりとした味は、暑い夏にぴったりです。

アレンジ

- ・南瓜、ピーマン、ゴーヤ、レンコン、さつまいも、人参、ごぼうなどに替えても美味しくできます。
- ・魚を豚肉や鶏肉、牛肉、厚揚げに替えてもOKです！

材料（4人分）

- 魚（写真は飛魚）……………2尾
- 塩こしょう……………少々
- 小麦粉……………大さじ1
- ごま油……………小さじ2
- 茄子……………2本（約300g）
- トマト……………1個（約150g）
- ズッキーニ（黄）……………1本（200g）
- ポン酢……………大さじ3
- 青しそ……………4～5枚

作り方

- ①魚は3枚におろして3等分にし、塩こしょうをふって小麦粉を薄くまんべんなくまぶす。
- ②フライパンを熱し、ごま油を入れ、①の魚を火が通るまでしっかりと焼き、ボウルに入れる。
- ③茄子は皮をむいて一口大の乱切りにし、耐熱皿に乗せて軽くラップをして、レンジ（600w）に5分間かけて火を通す。
- ④ズッキーニは5mmの厚さに切り、フライパンで素焼きにする。
- ⑤トマトは2cm角に切る。
- ⑥準備した茄子、ズッキーニ、トマトを②のボウルに入れ、ポン酢を加えて大きく混ぜ合わせる。
- ⑦皿に盛り、せん切りにした青しそを添える。

材料（4人分）

- そうめん……………4束（200g）
- きゅうり……………2本
- 人参……………1/2本
- 玉ねぎ……………1/2個
- ハム……………4枚
- とうもろこし……………50g
- マヨネーズ……………大さじ8
- 顆粒コンソメ……………小さじ2
- 塩……………少々
- こしょう……………少々

作り方

- ①そうめんはたっぷりのお湯で表示通りに茹で、冷水に取ってザルにあげ、水気をしっかりときる。
- ②きゅうりは3mmの厚さの輪切りにし、塩を少々ふってしんなりとさせ、水気を絞る。
- ③人参は斜め薄切りにしてから細せん切りにする。（軟らかく仕上げたい時は、下茹でする。）
- ④玉ねぎは薄切りにして水にさらし、水気を絞る。
- ⑤ハムは半分に切って、細切りにする。
- ⑥ボウルに準備した材料（とうもろこしを含む）を全部入れ、マヨネーズと顆粒コンソメを加えて和え、最後に塩とこしょうで味を整える。

アレンジ

- ・ゴーヤ、ズッキーニ、トマト、わかめなどいろいろな食材に替えても美味しくできます。
- ・ハムは、焼き豚や竹輪、ツナ缶、カニかまぼこなどに替えても楽しめます。

コメント

- ・サラダそうめんは、野菜もたっぷり！柔らかな食感でパスタより食べやすいです。
- ・食卓でしようゆを少々かけて食べると、ご飯のおかずにもバッチリ！
- ・おかずの一品にする場合は、材料を半分量にするとちょうど良くなります。

サラダそうめん



健康散歩

JA島根厚生連

夏の睡眠

夏の夜、暑さで寝苦しくて眠れない、途中で目が覚めてしまうという経験はありませんか？睡眠には心身の疲労を回復する働きがありますが、睡眠不足や睡眠の質に関する問題は、心身の健康に影響を及ぼすだけでなく、本人の自覚がいまま集中力や記憶力の低下が起こるため、日常生活でもケアレスミスが多くなってしまいます。

寝苦しい夏の夜でも睡眠がとれるようにポイントをあげていますので試してみてください。



～夏の快適な睡眠へのポイント～

1. 睡眠環境を整える

室温26～28℃前後、湿度50～60%が睡眠のうえで最適な室内環境と言われています。エアコンの冷房機能だけでなく除湿機能も使いましょう。扇風機も併用するとよいでしょう。

2. 眠る1～2時間前にぬるめのお湯（38.0℃程度）で入浴する

入浴することで熱の放散が盛んになり、深部体温（脳や内臓など体の内部温度）が下がることで入眠しやすくなります。



3. 寝具や寝衣を調節する

寝具は吸湿性と肌触りのよい竹や麻などの自然素材のものや、接触冷感素材のものを使用するとよいでしょう。寝衣は半袖、半ズボンであると手首や足首に直接冷気があたり、体を冷やしすぎてしまう場合があるので、ゆったりとした長袖・長ズボンが理想的です。



快適な睡眠がとれるよう、できることから取り入れて、熱い夏を元気に過ごしましょう。

【編集後記】 うだるような暑さが続いているですが、そんな日こそ夏野菜たっぷりのカレーが食べたい今日この頃です◎夏野菜といえばトマトやナスなどですが、ピーマンは2つに切って氷水にひと晩漬けておくと、パリパリのおいしいピーマンに変身するのだとか（ネット情報）。今年は家庭菜園でピーマンを育てているのでやってみたいな～と思います…！皆さんも野菜のおいしい食べ方を知っていたらぜひ教えてください◎（古）